



喜多埜

御旅社七夕祭のご案内

本年も七月六日～七日の両日にわたって、茶屋町の御旅社にて、七夕祭を斎行致します。七夕は日本古来の天棚機比売（あめのたなばたひめ）の伝説と大陸の牽牛織女（彦星と織姫）の伝説が相まって生まれた信仰といわれ、技芸の上達、恋愛成就を願う日とされ、笹の葉に願い事を記した短冊を結び星に祈りを捧げました。

当神社の御旅社において執り行われる七夕祭は、京都の北野天満宮に七月七日に行われる「御手洗祭（みたらしさい）」に倣い、神前に書道具を並べ供え、氏子崇敬者をはじめ参拝者みなさまの学問書道の上達を願い、また、御手洗の字の如く、心身の清浄を祈願致します。また、末社に玉姫稻荷神社という縁結び、女性守護の神さまをお祀りする所以から、縁結びにも御利益あらたかなるといわれ、特に若い女性からの信仰篤く、毎年、七夕祭の日には大変な人出で賑わいます。当日は、夕方午後四時から短冊奉納（一枚百円）などの行事を執り行ないます。夏の夜に、それぞれのお願い事を胸に、どうぞお参り下さい。

名称 七夕祭

日時 平成二十五年七月六日～七日

午後四時～午後十時まで

場所 大阪市北区茶屋町十二番五号

網敷天神社 御旅社 境内

お問い合わせ 網敷天神社 御旅社まで

歯神祭のご案内

名称 歯神社例祭（通称 歯ブラシ感謝祭）
日時 平成廿五年六月四日（火）午前十一時
場所 大阪市北区角田町二番八号 歯神社
（ユニクロ梅田店 入口 右横）

備考 歯ブラシ授与は先着百名迄。
お問い合わせ 網敷天神社 御旅社まで

九十九神

当宮社報は今号で第九十九号となります。この九十九という数字。一般的には「つくも」と読む事で知られています。そして「つくも」と聞けば多くの人が思い浮かべられるのが「九十九神（つくもがみ）」なのではないでしょうか。この九十九神の信仰は鎌倉時代後半からみられ、室町時代に入って土佐光信の『百鬼夜行図』などの登場で、古物に神が宿るといふ、私たちがよく知る姿に定着しました。しかし、多くは妖怪や鬼の姿で描かれます。これは物を大切にしなかったら、バチがあたるといふ事を具現化したものといわれ、日本人の「もつたいない精神」の象徴がまさにこの九十九神なのかもしれません。ようやく近年になって資源還元を考えが広まってきましたが、九十九神に怒られないように、己を助けてくれる様々なモノに感謝する心を大切にしてきたいものです。

桂佐ん吉さん落語会

今月の六月十五日（土）の午後二時（開場午後一時三十分）から、茶屋町の御旅社で桂佐ん吉さんの落語会があります。

- ・一回目 午後二時から
- ・二回目 午後二時四十分から
- ・三回目 午後三時二十分から

詳細は米朝事務所までお問い合わせ下さい。
米朝事務所 ○六一六三三五八二八一

神社携帯サイトのQRコード

ドコモ、ソフトバンク、
au、モバイルPC 対応



編著 網敷天神社 禰宜（神主）

白江 秀 知

